

姫路獨協大学の経営の推移と改善に係る 取組とその評価・分析



大学開設の経緯

「姫路に総合大学を」という姫路市を中心とした当時の西播磨
4市21町84万余人の地域の総意

地域を挙げての大学誘致活動

- ・ 10億円に上る募金
- ・ 36万人の署名



全国初の「公私協力方式」により、昭和62年に開学

姫路市からの財政支援

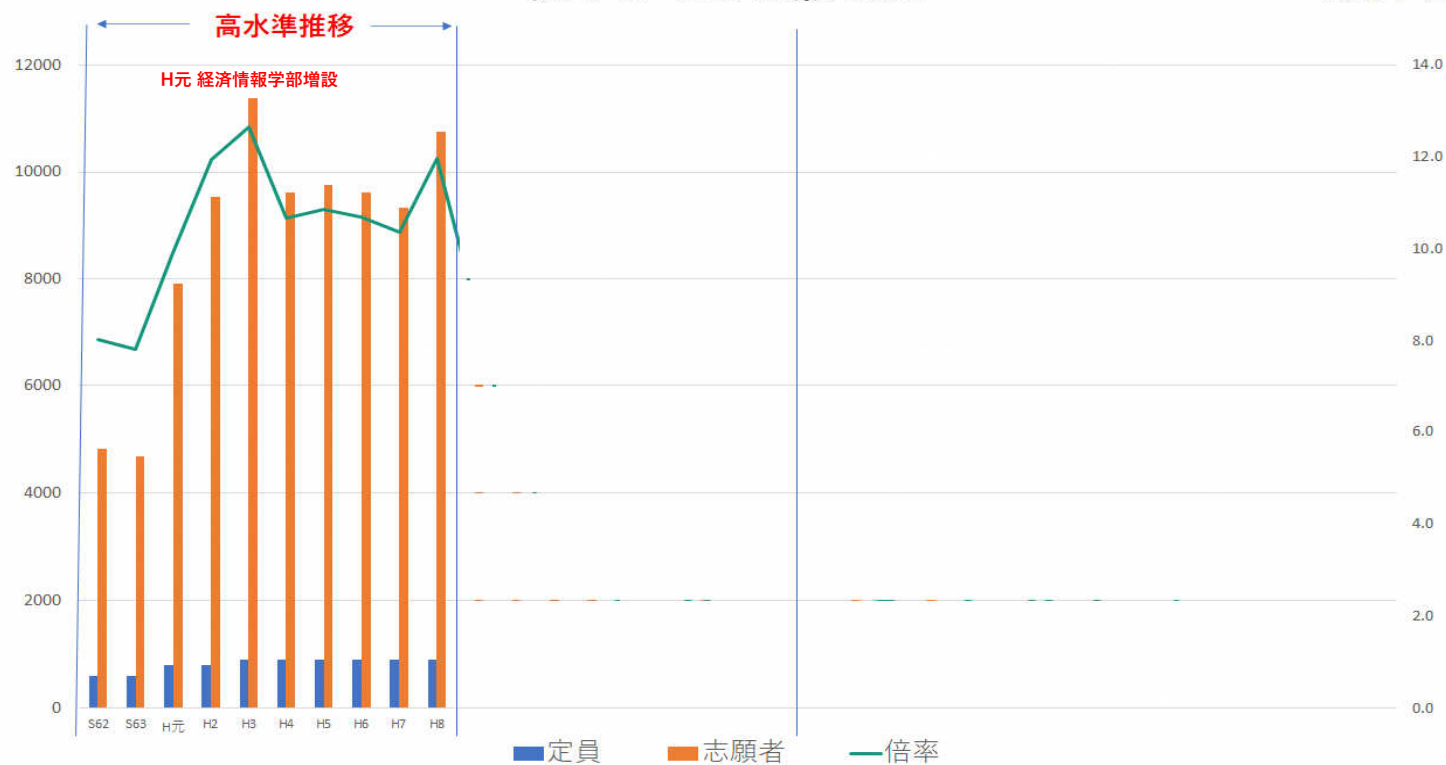
支援内容	備 考
大学用地の寄付	167,304㎡(現敷地の医療保健学部棟、薬学部棟、第3学生駐車場以外)
出資金拠出	昭和60年～平成元年度まで5年間に各10億円(総額50億円)
各種の造成支援	<ul style="list-style-type: none">・学校用地施設の河川改修や市道整備・近郊都市計画街路や下水道の繰上げ整備・バス路線の新設 など

志願者・入学者の推移と対応

志願者（人）

開学からの志願状況

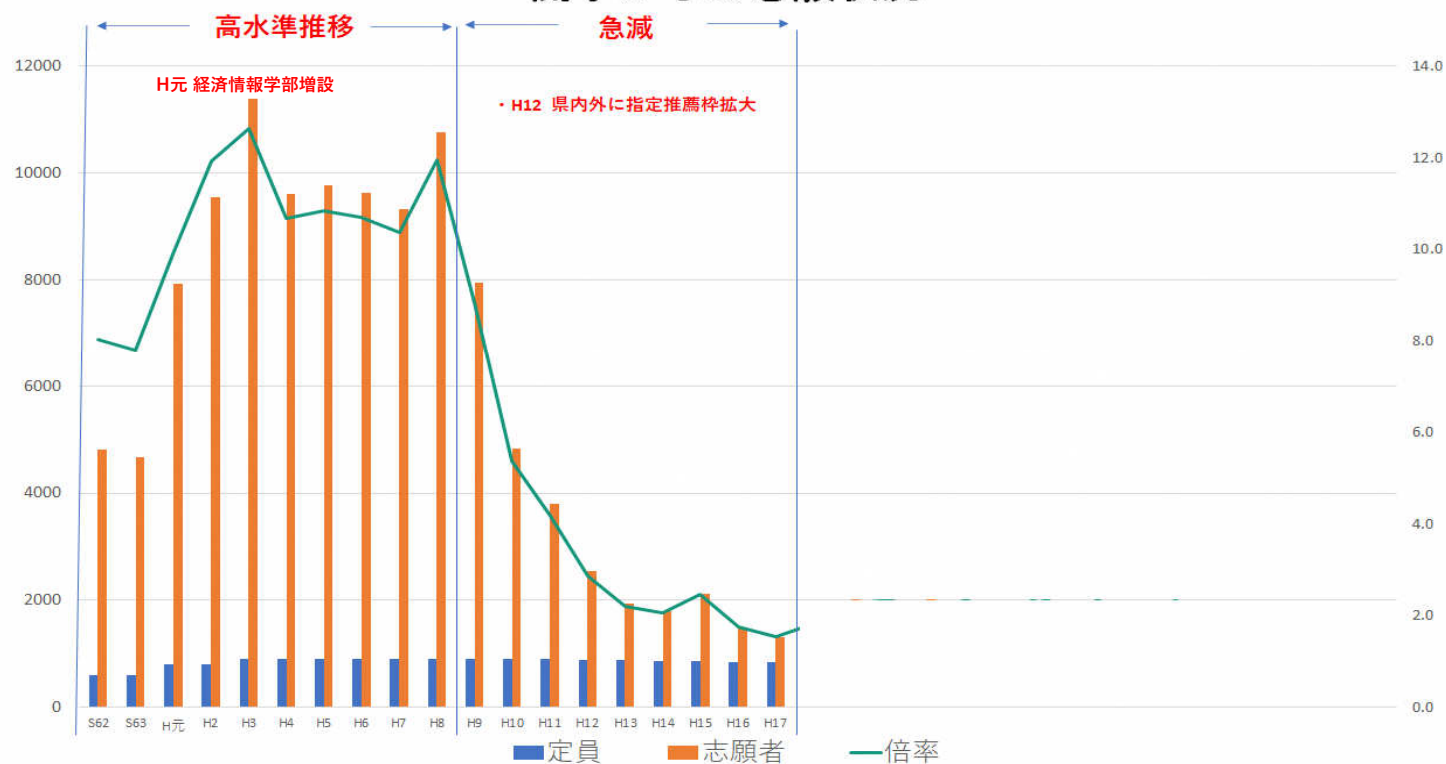
志願倍率（人）

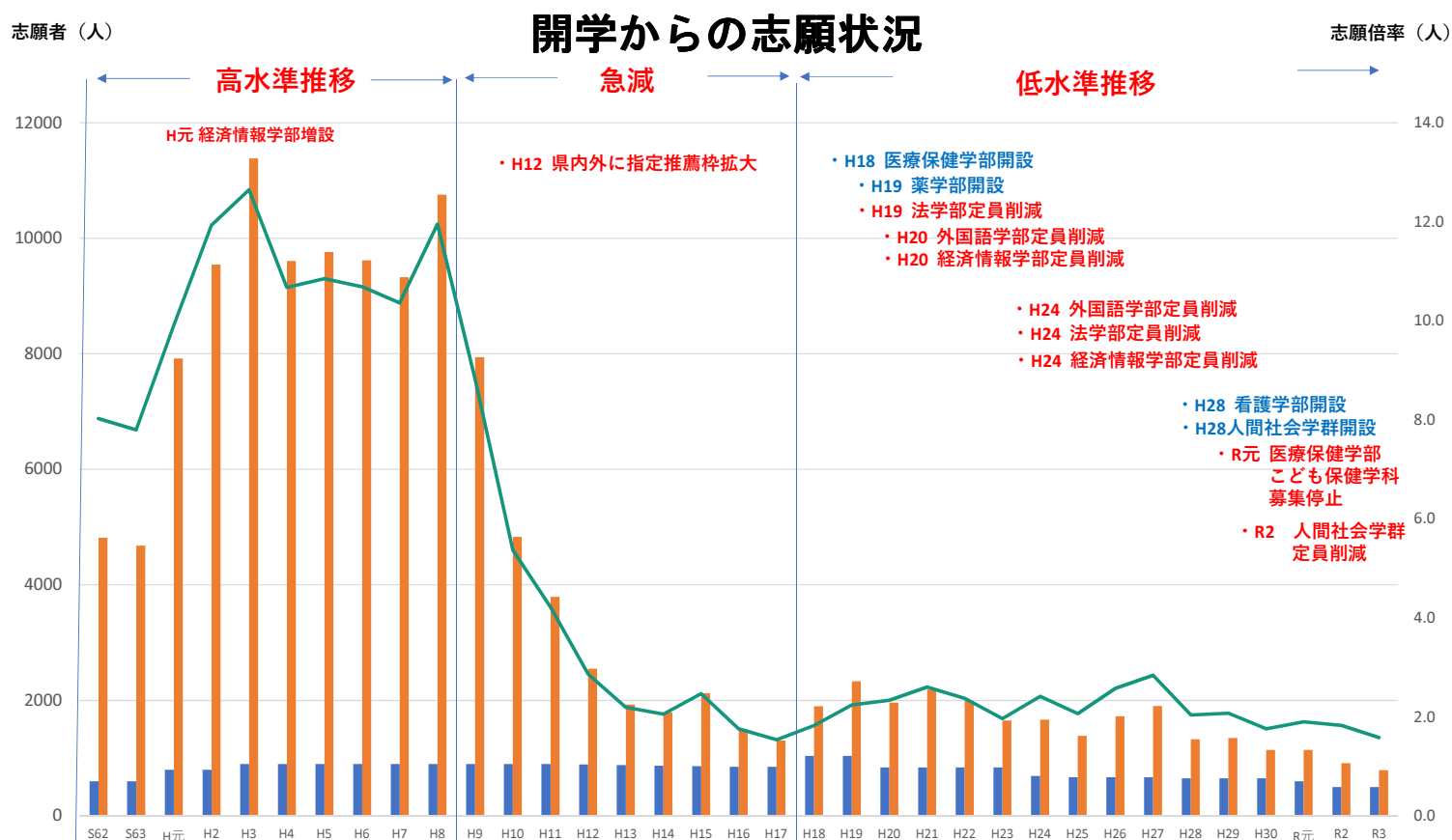


志願者（人）

開学からの志願状況

志願倍率（人）

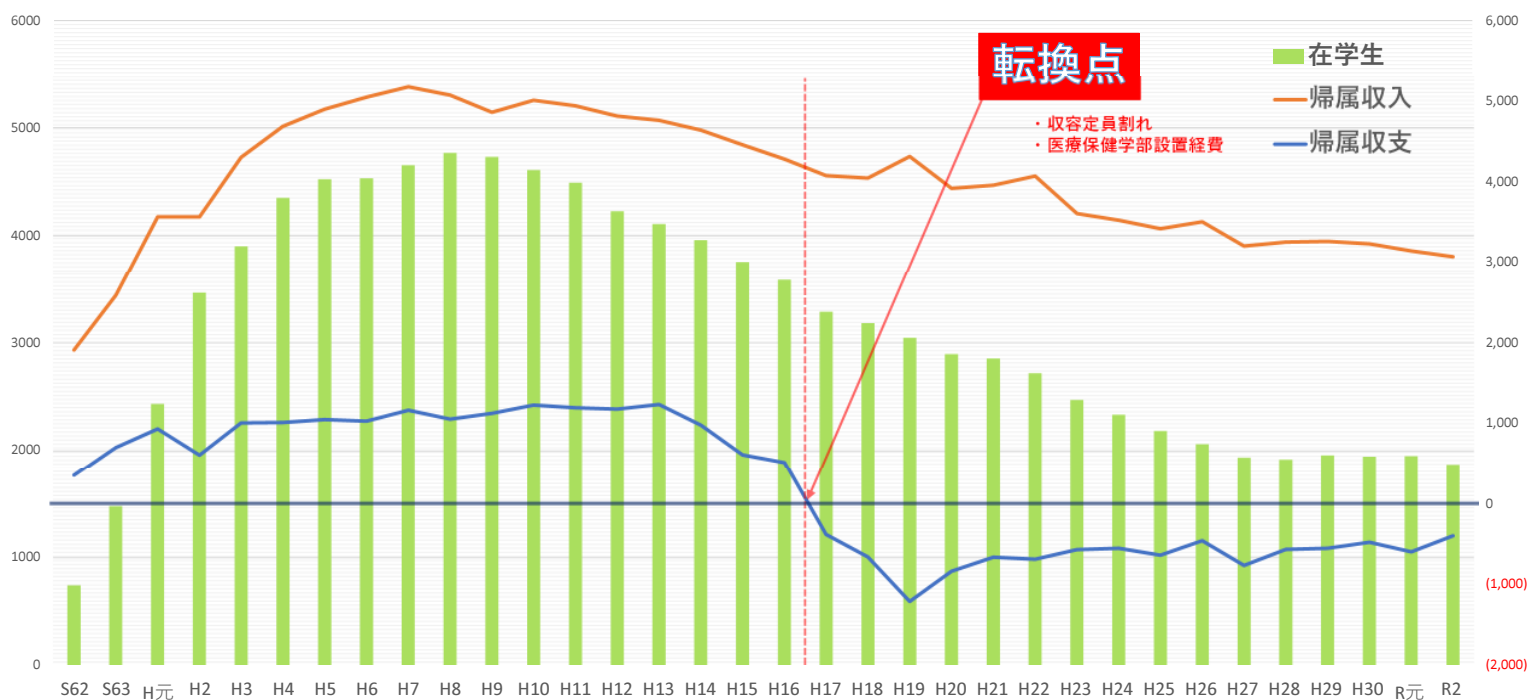




経営の推移と現状

志願者数（人）

帰属収入と収支の推移



姫路獨協大学の経営改善に向けた取組

ア 人件費削減策（H18年度以降）

- ・ 賞与の見直し
- ・ 諸手当の見直し
- ・ 人事制度の見直し
- ・ 早期退職者募集（33名応募）
- ・ H26年度以降「原則として設置基準を下回らない限り、定年退職した教員の補充は行わない」方針を決定

H18以降の削減効果 総額 37億4450万円

イ 平成17年度以降の主な施設設備整備実績

平成17年度	医療保健棟新設(機器備品含む)、サッカーグラウンド人工芝整備等
平成18年度	薬学部棟新設(機器備品含む)、医療保健棟機器備品整備
平成19年度	講義棟他改修工事、野球場他整備(ナイター設備等)、医療棟薬学部棟機器備品整備
平成20年度	薬草園増設(機器備品含む)、講義棟空調改修工事
平成21年度	医療保健棟機器備品整備
平成22年度	20周年記念ホール設置工事、「ぴあのぴあの」改修工事、学生駐車場整備工事
平成23年度	LL教室棟改修工事、学生食堂機器備品整備
平成24年度	北グラウンド整備改修工事、学生食堂機器備品整備、体育館内トレーニング室改修
平成25年度	講義棟空調改修工事、中庭他学内改修工事、講義棟内什器改修、法人事務システム導入
平成26年度	講義室・地域学習ラボ什器、学内コンビニ機器導入
平成27年度	看護学部棟改修工事、看護学部機器備品、薬学部棟AV機器更新
平成28年度	学生食堂改修工事、看護学部機器備品
平成29年度	(アスベスト対策)煙突設置工事、看護学部機器備品
平成30年度	サッカー場人工芝改修工事
令和元年度	学内ネットワーク機器更新
令和2年度	体育館、剣道場天井耐震工事、体育館外壁・屋根防水工事

総 額 **76億8500万円**

姫路獨協大学が地域に果たしてきた役割

1. 若者人口の維持
2. 地域企業等への人材供給
3. 地域における経済波及効果
4. 大学資源の地域還元、地域活性化

若者人口の維持

- ・開学以来、26,000人超の学生が入学
 - 姫路市内の若者人口流出阻止
姫路市内への若者人口流入促進
- ・入学者のうち4,500人超が姫路市内居住者
 - 姫路市内の高校生の重要な進学先としての役割
- ・市内の他大学には、看護学部を除く3学部と同系統の大学はない
 - 姫路市内の若者人口流出阻止

姫路獨協大学が地域に果たしてきた役割

1. 若者人口の維持
2. 地域企業等への人材供給
3. 地域における経済波及効果
4. 大学資源の地域還元、地域活性化

地域企業等への人材供給

・開学以来、令和2年度までに3,100人超の学生が姫路市内に就職し、地域産業を支えてきた。医療系学部設置後は、更に多岐にわたる分野に人材を供給している。

・定員ベースで、本学が兵庫県下の大学の入学定員に占める割合は、保健学系統(リハビリ分)では約20%、薬学系では約10%、看護系では約7%であり保健医療系人材養成機関として一定の役割を担っている。

姫路獨協大学が地域に果たしてきた役割

1. 若者人口の維持
2. 地域企業等への人材供給
3. 地域における経済波及効果
4. 大学資源の地域還元、地域活性化

地域における経済波及効果

703億円 …… 開学初年度から平成30年度までの市内需要創出額

887億円 …… 経済波及効果

(※専門家による研究試算より)

姫路獨協大学が地域に果たしてきた役割

1. 若者人口の維持
2. 地域企業等への人材供給
3. 地域における経済波及効果
4. **大学資源の地域還元、地域活性化**

大学資源の地域還元、地域活性化

開学時より「地元貢献する大学」「地域に開かれた大学」として、姫路市に寄与するため、本学がもつ人的(知的)資源、施設資源を提供し、地域活性化に寄与

- ・ 公開講座(「獨協講座」「はりま歴史講座」等)
- ・ シニア・オープンカレッジ(姫路市と連携)
- ・ 各種セミナーの実施
- ・ 学内施設プレイルームを提供、教員も派遣
- ・ 発達障がい児・者支援講座
- ・ 図書館、体育館、グラウンド、教室等の大学施設の市民への開放
- ・ 「カフェぴあの・ぴあ〜の」に学内施設を提供
- ・ 教員免許状更新講習
- ・ 産官学及び市・団体の各種委員会への教職員参画
- ・ 大学発まちづくり研究助成事業(姫路市と連携)
- ・ 産学協同研究助成事業(姫路市と連携)
- ・ 小中高等学校の学習活動支援、高等学校との連携教育活動
- ・ 地域ボランティア活動、小中高等学校の活動支援に学生を派遣 など

はりま歴史講座



シニアオープンカレッジ



プレイルーム・わくわく
(発達障がい児・者 サポート)

(平成30年度 文部科学大臣表彰)

のびのびセミナー
(子育て・発達障がいに関する講習会)



障がい者就労支援施設 「カフェ ぴあの・ぴあ〜の」



姫路城さくらこうぼのお酒 姫路きくこうぼのお酒 姫路さぎそうこうぼのお酒 (産学協同研究助成)



女子中学生対象の理工チャレンジ（内閣府男女共同参画局事業）



医療・健康フェア（JR姫路駅北にぎわい広場）



トライやるウィーク中学生の受け入れ



高校生インターンシップ・プログラム

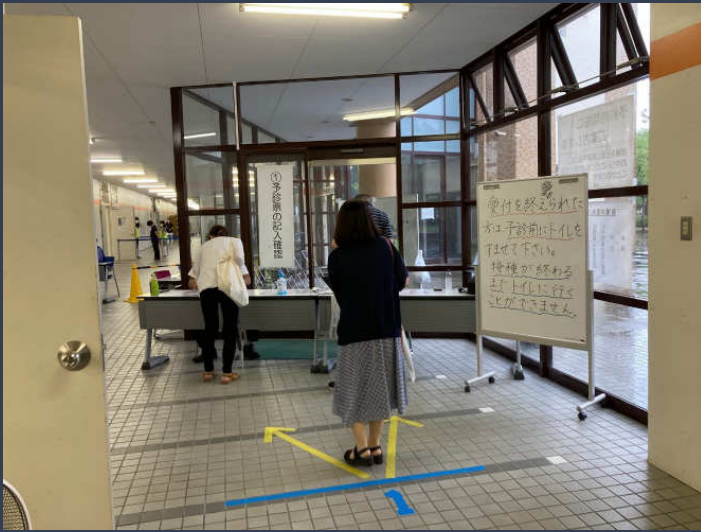


防犯ボランティア（子ども見守り隊） (平成24年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞)



広峰小学校

新型コロナワクチンの高齢者集団接種への協力 (計10,000回接種)



ご清聴頂きまして
ありがとうございました。

モニュメント「三想」(姫路市より寄贈)

本学の開学時に姫路市より寄贈されたモニュメント「三想」は、「市民・行政・大学」の3つの柱を象徴として、しっかり結びつきあい、地域との強い連携を表しています。

また、モニュメント「三想」には、市民から寄せられた署名簿、寄付者名簿などが、本学の礎として大切に収納されております。

(姫路獨協大学ホームページより)